



▲成人証書を受け取る新成人

平成22年度

只見町成人式

成人証書を手にも、

喜びと感謝

平成22年度只見町成人式が8月15日に季の郷湯ら里で行われ、成人者61名のうち58名が出席、新たな思いを胸に新成人としての第一歩を踏み出しました。

成人式では、目黒町長が式辞で「豊かな感性と柔軟な発想で未来を築いてください。只見に生まれ育ったことに誇りを持ち真に豊かな人生へと船出をしてください。これからの活躍に期待します」と述べました。続いて行われた成人証書授与では、目黒町長から新成人一人ひとりに成人証書が手渡されました。

来賓による祝辞では、五十嵐拓町議会議長が「元気・やる気・勇気を持って頑張ってください。実り多い人生を歩んでください」と述べ、角田定平町選挙管理委員長は「若者らしい正義感を持って、人と会話することを中心に、人生を歩んでください」と述べました。

先輩からのメッセージでは、SDLジャパン株式会社エンタープライズ本部日本支社に勤務する渡部和人さん(下福井出身)

が新成人に熱いメッセージを贈りました。

さらに、家族から贈られた成人を祝う手紙が手渡されると新成人からは笑顔がなくなり、真剣なまなざしで読みはじめ、目頭をおさえる姿も見られるなど、改めて家族の絆や今までの家族に対する感謝の気持ちで胸が熱くなっている様子でした。

最後に新成人を代表しての鈴木木晃さん(只見)が「自然豊かで、温かく見守ってくれる人がいる、ふる里只見で成人式に出席でき嬉しい。この感動を忘れずに、精一杯頑張ります」と謝辞を述べました。

成人式が始まる前や終了後には、会場内や湯ら里の玄関前にたくさん話の輪ができ、友達同士で近況を伝えあったり、写真撮り合ったりして、懐かしそうに盛り上がっていました。

また、今年から成人証書のデザインが一新され、証書の隣りに成人式当日に撮影された記念写真が貼り付けられるよう工夫されており、写真を受け取った新成人は、丁寧に貼り付けていました。

夢と希望・誓いを胸に未来へ羽ばたけ



はせがわ なおみ
長谷川 尚美さん (只見)

大学で日本文学を学んでいます。文学を通して、只見の自然や魅力を伝えたいと思っています。
将来は、伊坂幸太郎さんのような作家になりたいです。



たきざわ けん
滝沢 健さん (只見)

成人にはなりたくなかったです。10代のままでいたかった。
今は製造業の仕事を一生懸命頑張りたいと思います。
今後の一番の目標は25歳までに結婚することです。

新成人からひんぽんぽん



2



1



4



3

只見を誇りに思ってください。只見を大いにPRしてください。方言を忘れずに、コミュニケーションは方言を使いましょう。
自分のために、自分がこれだと思ったことには、お金を使ってください。投資をしてください。
いろんなことにトライして、どんどん悩んでください。その悩みを友達と共有して知恵を出し合ってください。伸びしろは20〜30歳です。何事にも一生懸命取り組んでください。
只見を愛し、只見を広めていきましょう。

渡部和人さん(わたなべかずと)
SDIジャパン株式会社
エンタープライズ本部日本支社勤務



先輩からのメッセージ

- 1 祝・成人
- 2 家族に感謝
- 3 二十歳の喜び
- 4 鈴木晃さんの謝辞